

共創・国民民主神戸市会議員団市政報告 (西区版)

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団

2020年 春号

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階 TEL:(078)322-5845 FAX:(078)322-6171



令和2年度予算等の報告

令和2年2月18日～3月27日までの39日間の会期で令和2年第1回定例会2月議会が開会され、一般会計、特別会計、企業会計を併せて総額1兆8,591億円の予算案が上程され、1か月余りの慎重審議の末に予算案は可決、承認されました。

なお、わが会派では、真に若者を含めて多くの世代から選ばれ、かつ愛されるまち、誇りを持てるまちを目指し、神戸市がより一層飛躍するように積極的な施策展開を行うと同時に、総合的な福祉施策の充実を期待し、**要望事項**12件(下記にその一部を掲載)を付して承認しました。また、新型コロナウイルス対策については、市民の健康への不安払拭と感染拡大防止に向けた可能な限りの情報公開、中小零細企業の経営、雇用への対策に万全を期すよう強く要望しました。



新型コロナウイルス感染症 相談窓口 (24時間対応)

帰国者・接触者相談センター (078) 322-6829

健康相談の専用窓口 (078) 322-6250



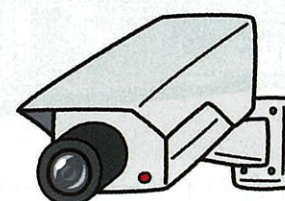
新型コロナウイルス経営等 相談窓口 (平日 9時～17時)

ひょうご・神戸経営相談センター (078) 977-9079



(要望事項) その一部を掲載

1. 以前補助対象で設置した約2500台の防犯カメラについては、直営2000台のカメラの設置と並行して、一元管理(ネットワーク化)が可能か検証して取り組むこと。
2. 台風を始め大規模災害に起因する停電対策を全市的にとりくむこと。
3. 農業公園の再整備にあたっては、食都神戸の生産拠点にふさわしい活力のある機能と、市民に親しまれる施設に留意して取り組むこと。
4. 市営住宅第3次マネジメント計画の中で、具体的な計画を打ち出すことになっている押部谷及び栄の住宅に関しては、ドラスティックな統廃合を進めると共に、新たに生まれる遊休地の活用については、今後30年先を見据えた取り組みとなるよう留意すること。
5. 敬老優待乗車制度については、制度全般についての見直しの効果等を検証し、真に高齢市民の理解が得られるよう努めること。
6. 新港西地区ウォーターフロントの再開発にあたっては、回遊性の向上を視野に特に1、2突堤間の水域の基部周辺の埋め立てによる利活用を検討すること。



局別審査

○経済観光局

Q. 食と農をテーマにした交流拠点施設としての農業公園の再整備をどう進めるのか。

A. 庁内プロジェクトチームによる検討と民間企業 16 社によるサウンディング調査を通じて、生産振興、担い手育成等の農業振興機能と食と農をテーマに新たなライフスタイルを提案する機能を併せ持つ食都神戸の拠点施設としてリニューアルすべく、再整備計画や公募要領の策定にむけて作業を進めて参ります。



委員会質疑をする前島浩一議員

○都市局

Q. 西神中央駅周辺の活性化策（動線整備等について）

西区新庁舎へのバリアフリー化動線と文化・芸術ホール、新図書館への通行の安全対策についてどう進めていくのか。

A. 西区新庁舎へのアクセスは、隣接商業施設からの連絡通路のほかにプレンティー広場方面からの道路横断手前にエレベーターを設置して連絡通路につなぐことで対応していくこと。

また、文化・芸術ホール等へは既存デッキの拡幅（2.5m → 4.5m）架け替えとデッキ（2階）に至るまでのアクセスとしてエレベーターやエスカレーターの設置を検討したい。

○危機管理室

Q. 新型コロナウイルス対策については、感染拡大防止の観点から自分が濃厚接触者か否かについての可能な限りの情報公開に努めるべき点を強く要望すると共に、既存設置の防犯カメラ（約 2500 台）は可能なものから直営のネットワーク化に組み入れてはどうか。

A. 先ず直営で計画している 2000 台について、令和 3 年度末までに設置を完了すべく関係機関と連携して 全力で取り組んでいきたいと考えており、補助対象で設置した既存カメラについては、それぞれの地域のご意見も踏まえて検証した上でその在り方について検討していきたい。

西区の動き

■西区役所（新庁舎と現区役所）



新庁舎のイメージパース

西神中央に建設予定の新庁舎については、

地上 6 階建て、延べ床面積約 1 万 m² の免震構造で令和 2 年度に着工し、令和 3 年度に供用開始予定。1 階と 3 階に区民向けの多目的スペースを設置。一方、現玉津庁舎については、現西神中央出張所と同程度の機能を保持し、空きスペースの有効活用は地元との調整による今後の検討課題。

■文化・芸術ホールと新図書館

鹿島リース（株）グループが受注して令和 2 年 11 月着工し、令和 3 年度末完成の予定。

ホールは、約 500 席の大ホールとリハーサル室、練習室を整備し、それが相互にフレキシブルに利活用できる諸室配置となっています。また、新図書館は 2 階に貸出カウンターを設置して、1 階は児童書、絵本等、2 階に一般書を、3 階には一般書のほかにセミナー室や学習室等を配置して、区図書館としては最大の 30 万冊の蔵書の予定です。



押部谷町公園の平面図

■押部谷町公園（CCP）の整備

西区内で唯一未整備であった市街化調整区域内町民公園（CCP）の押部谷町公園の工事が急ピッチで進められています。

場所は押部谷町和田で、面積は約 15,000 m²、駐車場の整備（32 台）、交差点の改良による出入り口の確保、洋式も取り入れたトイレの整備等々を行い、令和 2 年 8 月末～9 月初旬完成の予定です。

郵便はがき



--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--



市政だより

令和2年12月8日に第2回定例市会が閉会しました。

中国の武漢から発症した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に蔓延し、日本においても昨年2月頃からほぼ全国的に患者の発症が続き、現在は第3波の強烈な流行が勢いを増しております。神戸においても、一日50名前後規模の新規患者の発症が続き高齢者を中心に重症化が進んでおり、昨年11月に中央市民病院内に開設した臨時病棟(全36床)も近隣市等からの受け入れもあり、重症者用病床(14床)が底をつく状態となりつつあります。市民一人一人が最大の注意を払って予防に努めると共に、国、地方一体となって医療体制の堅持と、可能な限りの経済活性化策を図っていくことが肝要といえます。

昨年の第2回定例市会(9月～12月)では、令和元年度決算に対する質疑を中心に局別審査と総括質疑を行いました。すでに昨年11月に新聞折り込みで配布させていただいたニュースでご承知いただいている方もおられると思いますが、新型コロナウイルス対策と共に西区においては西神中央駅周辺の活性化策(プレンティ広場の再整備、文化・芸術ホール・新図書館開設関連、そごう西神店跡のショッピングセンターの1～5Fの臨時オープン、第3次市営住宅マネジメント計画の推進と課題の整理、開発団地のリノベーション等)を中心に当局の考えや取り組みを質しました。

今年1年はコロナ禍であっても、将来にわたっての魅力ある神戸のまちづくりを目指して、市民生活の安全・安心、経済の活性化等々に取り組んで参ります。

令和3年1月

神戸市会議員 **前島 浩一**

(共創・国民民主神戸市会議員団 団長)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL:078-322-5845 携 帯:090-9715-7733

FAX:078-322-6171 発行 共創・国民民主神戸市会議員団



■ 決算市会の報告（令和2年9月～10月）

令和2年9月18日～10月28日までの40日間の会期で令和2年第2回定例市会9月議会が開会され、令和元年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算及び関連議案合計24件に対する審議が1か月余りにわたって行われ、慎重審議のうで決算20件は認定され、関連議案4件は承認されました。

わが会派は、一般会計において9年連続で財源対策によることなく黒字化を達成したことを高く評価しており、これは「神戸市行財政改革2020」に基づき厳しい財政運営に努めた結果と判断しております。

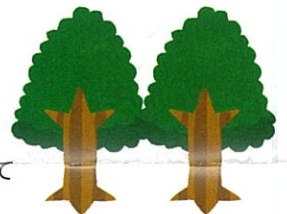
しかしながら、Withコロナの時代において、新たな経費が財政への負担となることは必至であり、財政調整基金の残高も少なくなっており、今後の財政運営は総合的な視野からの判断が求められています。厳しい財政状況下ではありますが、人口減少・超高齢化社会に対応した魅力ある施策展開を行うと同時に、市民が誇りを持てる社会福祉施策の充実を期待し、要望10件を付して認定・承認しました。



質疑中の前島浩一議員

（要望事項） その一部を掲載

1. コロナ禍での、インフルエンザワクチンの確保に向けて、県と連携して製薬会社に安定的な供給の働きかけを行うこと。また、幅広く予防接種を進めるため、全世代に対する補助メニューを構築すること。
2. 市長直轄の「つなぐラボ」が果たしてきた役割を今後も生かすため、組織的課題等を整理したうえで実績作りにも努めること。
3. 緑道等における街路樹再整備にあたっては、神戸市が再植についても積極的に関与しその保全に努めること。
4. 新神戸駅前広場等の再整備にあたっては、駅南の交差点の安全性に考慮して改良を図るとともに、二層式車寄せのスムーズで安全な活用に向けて、歩行者動線にも配慮して取り組むこと。
5. 第3次市営住宅マネジメント計画については、その再整備にあたり、周辺エリア全体の状況を踏まえてその方向性や将来ビジョンを早期に示すべく検討すること。
6. 三宮駅周辺のバス乗り場については、「利用者にわかりやすい、使いやすい」ことを視点に統合、再整備に取り組むこと。



—— 新型コロナウイルス対策に資するべく ——

議員報酬2割を削減する条例案を提出するも否決！

財源約1億5600万円を捻出し、「新型コロナウイルス対策」として活用することを目的に、「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例」いわゆる『神戸市会議員の報酬2割を1年間カット』する内容の条例案を、私、前島浩一を含めた14名が提案議員となり議案として提出しましたが（6月議会で）、3カ月にわたる委員会質疑を経て、最終的には、第2回定例市会初日の9月18日の本会議で賛成少数で否決されました。

■ 総括質疑

今決算市会では、会派を代表して市長、副市長に対する総括質疑をおこないました。
局別審査での質疑を踏まえて更に解明したい点を中心に質疑いたしました。
その要旨は以下の通りです。



決算特別委員会 総括質疑

1. 第3次市営住宅マネジメント計画の推進について

Q 生活利便性等に課題を抱え先送りされてきた西北神地域の特に押部谷住宅や栄住宅の再編については、再整備にあたって生み出される余剰地の活用に対して、地域の活性化に資するべくその方向性を早期に示すことと、民間活力の導入や地域団体との連携等の課題解決に向けては、建築住宅局だけではなく全庁あげて連携し、スピード感を持って取り組むべきと考えるがどうか。

A(市長) 令和3年度以降、住宅の具体的な再編、集約の進め方について速やかに入居者に説明し、移転の意向を聞きながら順次事業に着手すると共に、発生が見込まれる余剰地の活用については、事前の民間事業者へのヒヤリングでは難しいとの意見を聞いており、今まで以上の工夫が必要と考えていると共に、全庁的にしっかり連携しながら地域活性化への取り組みを行っていききたい。

2. 新神戸駅前広場等の再整備について

Q 神戸の玄関口にふさわしい空間の創出をめざし、道路交通の円滑化や歩行者動線の見直しを目的に再整備に取り組みれようとしているが、駅方向から、新神戸トンネルから、そして山麓線からの車が複雑に交差する危険な個所の改良と、駅前広場での一般車と公共交通の分離方針にもとづく歩行者の安全でスムーズな動線の確保をどう考えているのか。



新神戸駅前ロータリー

A(今西副市長) 現在の駅前広場は、繁忙期に渋滞が発生して利便性の低下につながっているため、駐車場などの施設配置の見直しと、一般車と公共交通を1、2階に分離することによって交通処理の円滑化を図ることを考えており、そのためには一般車の利便性にも配慮した分かりやすい動線となるよう、駅前広場の整備に合わせて駅舎のリニューアルをJR西日本に働きかけているところです。
また、3方向からの車両の合流地点については、いろいろな制約はありますが、近接するバス停位置の変更や車線構成の見直しなど可能な限りの交通処理の改善を検討しているところです。

■ 局別審査

今回は第1分科会に所属し、下記2局のほか行財政局・市長室、企画調整局、建築住宅局に対する質疑も行いましたが、紙面の関係上省略します。詳細は、議会ホームページをご覧ください。

○都市局

Q 高齢化等が進む計画的開発団地のリノベーションについては、地域の機運の高まりを待つのではなく、行政が積極的に働きかけて取り組んでいくべきではないか。

A 自立的かつ持続的な団地再生を図るためには、行政がそれぞれの地域の機運を高めていくことが重要であり、行政の役割と認識しております。

これまでの取組みの成果を他の団地にもフィードバックして再生・活性化の方向を打ち出し、それに対する地域の意見を踏まえつつ、区役所とも連携して機運の高まりを支援していきたいと考えています。



決算特別委員会 局別審査

○交通局

Q そごう西神店の後継事業者として双日株式会社が決定してはや2か月が経過しているが、双日の計画はどのようなもので、どのような協議をおこなっているのか。

西区民にとっては一日も早い開業を期待しているが、特に関心の高い1Fと5Fのテナントの状況とオープン時期は何時ごろか。

A 双日の当初の提案では、プレんティとの差別化を図るというようなことで、「プレんティにはないような大型店を誘致したい」というような事も入っていましたが、実際にそう決まっているのかは定かではありません。また、市会からも地域住民からも期待の大きい1、5Fの既存テナントの出店については、その意向も確認しながら、早期に開業できないか交通局、交通振興、双日三者で協議・調整中ですが、双日からは一部先行オープンについては積極的に協力するとの見解も示されており、早ければ年内のオープンと聞いております。



閉店したそごう西神店

共創・国民民主神戸市会議員団市政報告（西区版）

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団

2020年 秋号

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階 TEL:(078)322-5845 FAX:(078)322-6171



■ 決算市会の報告（令和2年9月～10月）

令和2年9月18日～10月28日までの40日間の会期で令和2年第2回定例市会9月議会が開会され、令和元年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算及び関連議案合計24件に対する審議が1か月余りにわたって行われ、慎重審議のうで決算20件は認定され、関連議案4件は承認されました。

わが会派は、一般会計において9年連続で財源対策によることなく黒字化を達成したことを高く評価しており、これは「神戸市行財政改革2020」に基づき厳しい財政運営に努めた結果と判断しております。

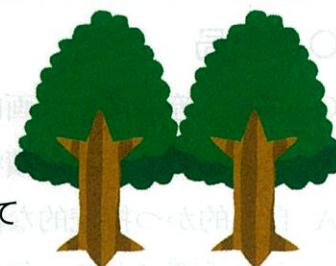
しかしながら、Withコロナの時代において、新たな経費が財政への負担となることは必至であり、財政調整基金の残高も少なくなっており、今後の財政運営は総合的な視野からの判断が求められています。厳しい財政状況下ではありますが、人口減少・超高齢化社会に対応した魅力ある施策展開を行うと同時に、市民が誇りを持てる社会福祉施策の充実を期待し、要望10件を付して認定・承認しました。



質疑中の前島浩一議員

（要望事項） その一部を掲載

1. コロナ禍での、インフルエンザワクチンの確保に向けて、県と連携して製薬会社に安定的な供給の働きかけを行うこと。また、幅広く予防接種を進めるため、全世代に対する補助メニューを構築すること。
2. 市長直轄の「つなぐラボ」が果たしてきた役割を今後も生かすため、組織的課題等を整理したうえで実績作りにも努めること。
3. 緑道等における街路樹再整備にあたっては、神戸市が再植についても積極的に関与しその保全に努めること。
4. 新神戸駅前広場等の再整備にあたっては、駅南の交差点の安全性に考慮して改良を図るとともに、二層式車寄せのスムーズで安全な活用に向けて、歩行者動線にも配慮して取り組むこと。
5. 第3次市営住宅マネジメント計画については、その再整備にあたり、周辺エリア全体の状況を踏まえてその方向性や将来ビジョンを早期に示すべく検討すること。
6. 三宮駅周辺のバス乗り場については、「利用者にわかりやすい、使いやすい」ことを視点に統合、再整備に取り組むこと。



—— 新型コロナウイルス対策に資するべく ——

議員報酬2割を削減する条例案を提出するも否決！

財源約1億5600万円を捻出し、「新型コロナウイルス対策」として活用することを目的に、「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例」いわゆる『神戸市会議員の報酬2割を1年間カット』する内容の条例案を、私、前島浩一を含めた14名が提案議員となり議案として提出しましたが（6月議会）、3カ月にわたる委員会質疑を経て、最終的には、第2回定例市会初日の9月18日の本会議で賛成少数で否決されました。

■ 総括質疑

今決算市会では、会派を代表して市長、副市長に対する総括質疑をおこないました。
局別審査での質疑を踏まえて更に解明したい点を中心に質疑いたしました。
その要旨は以下の通りです。

1. 第3次市営住宅マネジメント計画の推進について

Q 生活利便性等に課題を抱え先送りされてきた西北神地域の特に押部谷住宅や栄住宅の再編については、再整備にあたって生み出される余剰地の活用に対して、地域の活性化に資するべくその方向性を早期に示すことと、民間活力の導入や地域団体との連携等の課題解決に向けては、建築住宅局だけではなく全庁あげて連携し、スピード感を持って取り組むべきと考えるがどうか。

A(市長) 令和3年度以降、住宅の具体的な再編、集約の進め方について速やかに入居者に説明し、移転の意向を聞きながら順次事業に着手すると共に、発生が見込まれる余剰地の活用については、事前の民間事業者へのヒヤリングでは難しいとの意見を聞いており、今まで以上の工夫が必要と考えていると共に、全庁的にしっかり連携しながら地域活性化への取り組みを行っていきたい。



決算特別委員会 総括質疑

2. 新神戸駅前広場等の再整備について

Q 神戸の玄関口にふさわしい空間の創出をめざし、道路交通の円滑化や歩行者動線の見直しを目的に再整備に取り組まれようとしているが、駅方向から、新神戸トンネルから、そして山麓線からの車が複雑に交差する危険な個所の改良と、駅前広場での一般車と公共交通の分離方針にもとづく歩行者の安全でスムーズな動線の確保をどう考えているのか。

A(今西副市長) 現在の駅前広場は、繁忙期に渋滞が発生して利便性の低下につながっているため、駐車場などの施設配置の見直しと、一般車と公共交通を1、2階に分離することによって交通処理の円滑化を図ることを考えており、そのためには一般車の利便性にも配慮した分かりやすい動線となるよう、駅前広場の整備に合わせて駅舎のリニューアルをJR西日本に働きかけているところです。
また、3方向からの車両の合流地点については、いろいろな制約はありますが、近接するバス停位置の変更や車線構成の見直しなど可能な限りの交通処理の改善を検討しているところです。



新神戸駅前ロータリー

■ 局別審査

今回は第1分科会に所属し、下記2局のほか行財政局・市長室、企画調整局、建築住宅局に対する質疑も行いましたが、紙面の関係上省略します。詳細は、議会ホームページをご覧ください。

○都市局

Q 高齢化等が進む計画的開発団地のリノベーションについては、地域の機運の高まりを待つのではなく、行政が積極的に働きかけて取り組んでいくべきではないか。

A 自立的かつ持続的な団地再生を図るためには、行政がそれぞれの地域の機運を高めていくことが重要であり、行政の役割と認識しております。

これまでの取り組みの成果を他の団地にもフィードバックして再生・活性化の方向を打ち出し、それに対する地域の意見を踏まえつつ、区役所とも連携して機運の高まりを支援していききたいと考えています。



決算特別委員会 局別審査

○交通局

Q そごう西神店の後継事業者として双日株式会社が決定してはや2か月が経過しているが、双日の計画はどのようなもので、どのような協議をおこなっているのか。
西区民にとっては一日も早い開業を期待しているが、特に関心の高い1Fと5Fのテナントの状況とオープン時期は何時ごろか。

A 双日の当初の提案では、プレんティとの差別化を図るといようなことで、「プレんティにはないような大型店を誘致したい」といような事も入っていましたが、実際にそう決まっているのかは定かではありません。また、市会からも地域住民からも期待の大きい1、5Fの既存テナントの出店については、その意向も確認しながら、早期に開業できないか交通局、交通振興、双日三者で協議・調整中ですが、双日からは一部先行オープンについては積極的に協力するとの見解も示されており、早ければ年内のオープンと聞いております。



閉店したそごう西神店

いさやま大介



プロフィール



教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域子ども水泳教室の現コーチ。
2015年、2019年神戸市会選挙連続当選、現在2期目。
都市防災委員会所属。(2020年3月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

市政を身近に



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL: 078-322-5845
FAX: 078-322-6171

Vol.19

令和2年度当初予算案に対し、会派を代表して質疑しました

生活困窮者に対する学習支援事業およびスタディクーポン導入について

現在、神戸市においては生活困窮者を対象とする保健福祉局の学習支援事業と、学力向上対策としての学校と福祉の連携による学習支援事業を行われているが、その成果をよりきめ細やかに検証し制度の拡充・充実が必要ではないか。



また、この学習支援は使途目的限定なのが強みである一方、選択肢が限定的であること、拠点数の制限があることなどが課題であると言われている。この課題を補完するために、クーポン型給付という方法が利用相談支援との組み合わせにより、千葉市や渋谷区など全国自治体で採用されている。

経済負担の大きいひとり親世帯などに対して、ガバメントクラウドファンディング(課題解決型ふるさと納税)等を利用して、学習塾や習い事の費用を助成する「スタディクーポン」を導入検討をすべきではないか、と質疑。

【市長】本市の学習支援事業は、生活困窮者自立支援法施行前から実施し、順次対象を拡大し現在市内12カ所で実施をしている。(令和元年度12月末で登録者数363人) 今後は個人、グループ、NPO法人など様々な支援の実態を調査して、つなぐ課のテーマとして新たな方策の検討をしていきたい。

【副市長】ふるさと納税を活用した学習支援は、事業規模や交付額が安定しないことが課題。また、学習クーポンはメリットはあるものの、事業者の参画が保障されないこと等のデメリットも考えられる。いわゆる教育の格差、貧困の連鎖に対しては課題意識を持って方策を検討していきたい。



A YA (アヤ) 世代、若年世代のがん患者支援を！

福祉

【予算代表質疑】

質疑のポイント

- ☑ 全国に約5万8,000人いる15歳から39歳の思春期・若年世代AYA世代と呼ばれるがん患者は、医療の進歩で生存率が向上する中、進学や就職など世代特有の問題を抱えながら、治療を続けている。
- ☑ 患者の精子や卵子などを凍結して保存する、妊よう性費用を補助する県・市協調の制度の狙いと、この世代のがん患者への支援はどうする。

AYA世代のがん患者の場合には、将来、妊娠する可能性を温存するための治療、妊よう性の温存治療というものを選択することが必要になるが、かなりの経済的負担を伴うのが課題である。県・市協調により、この治療費の一部を助成する制度を創設し、将来に向けて前向きに治療に取り組めるよう支援していきたい。



ふるさと納税の活用を！

財政

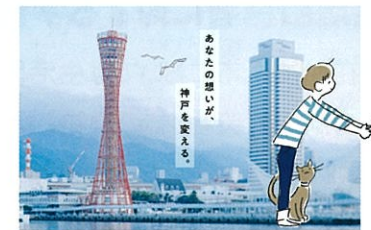
質疑のポイント

- ☑ 制度が大きく変わったふるさと納税において、クリエイターやデザイナーとの連携による発信や取り組みのねらい。
- ☑ 先進的な政策実現のために、ガバメントクラウドファンディング（課題解決型ふるさと納税）をより活用すべき。

9つの集中PRメニューを庁内で選定し市内のデザイナーやクリエイターと連携をしながら、ウェブサイトを改良し、PRパンフレットを作成した。

また、多様な返礼品を70点ほど追加し返礼品の充実も力を入れている。

ガバメントクラウドファンディング（自治体が抱える課題や解決策を具体的なプロジェクトとして公開してふるさと納税で寄附を募る取り組み）では、これまで5つの事業で活用している。令和2年1月末の寄附総額、件数は約6億3,000万円、9,900件（前年度比較+約2億円、+約1,500件）となっている。共感して応援をもらえるような仕組みづくりを一層進めていく。



H AT 活性化プラン～アートを活かしたまちづくり～

地域



▶ 県美の「美かえる」

HAT神戸エリアは、震災から25年を迎え整備が進み、JICAや人と未来センター等の施設もあり魅力ある地域となった。今年度予算案では、アートを活用して再活性化をはかるとあるが、どうしていくのか質疑。新たなシンボルアートを海沿いに設置し、県立美術館と連携したアートを生かしたまちの活性化に取り組む。六甲ミーツ・アートのイベントに出品された作品なども移設する。また、円形広場があるなぎさ公園を生かしてにぎわいづくりを考え、水域利用のためのレガッタ用の乗降用の施設の整備も考えている、とのこと。

教育現場のICT化推進！

教育

質疑のポイント

- ☑ 1人1台端末の導入など「GIGAスクール構想」が国において推進される。
- ☑ 神戸市情報教育基盤サービスの(KIIF)の再構築のねらいは何か。
- ☑ 学校から家庭への連絡手段にICTを導入する予定であるが、どのような内容を検討しているか。(平成31年度決算特別委員会より継続)

KIIF上では、出席管理、成績処理、教職員の出退勤管理等さまざまなシステムが稼働しており、次に3世代目に履行する。追加機能として、自動採点ソフトウェアの導入、学校ホームページを利用した各校独自のアンケート、保護者宛てメール機能、さらには保護者とのコミュニケーションツールとしてのアプリの導入という幅広いことを取り組んでいきたい。また、学級通信など学校からの配布物も添付可能である。



社会的養育を推進！

子育て

質疑のポイント

- ☑ 国における里親等委託率に対し、神戸市の計画案におけるあるべき里親等委託率はその目標を達成できていないが、どうしていくのか。
- ☑ 社会的養育を担う児童福祉施設と、里親や市内で増えつつあるファミリーホームとの支援協力関係を構築すべきではないか。

神戸市の実情を踏まえ数値目標と達成期限を設定した。また、ファミリーホームの委託の推進を神戸市の計画の中でも掲げており、運営に対する経済的な支援も国に対して要望していく。

停電対策を全市で推進！

危機管理



▶ 燃料電池自動車ミライ

近年、地震や風水害の影響により長時間の停電が都市部に起きている。災害時の停電に備え、電気自動車や水素自動車から公共施設に電力を供給する独自の方式いわゆる「神戸モデル」が一部で試行された。また、自動車会社及び酒造メーカーと協定を締結したが、その狙いと今後の展開について質疑。また、長時間の停電により人工呼吸器等が使用できない場合に備えた非常用発電機の購入に係る助成導入についても質疑。

議会風景



▶ 令和2年2月 予算議会代表質疑

▶ 同左

令和2年度各会計予算について

令和2年度各会計決算及び関連議案、合計50件を要望 12 件を付して認定、承認しました。
(要望事項の一例)

- ・ 摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立をはかること。
- ・ 六甲アイランド高校転落に関する事案の原因に配慮しながらも、今後起こりうるいじめへの対応は被害者に寄り添いながら、加害者への指導を疎かにしないこと。



○市会議員の期末手当増額に対し反対しました。(11月議会)

以下、全文を掲載

議員提出第7号議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例に対して反対の立場から、2点、意見を申し上げます。

上程理由に、「本市市会議員の期末手当の改定を行うに当たり条例を改正する必要があるため」とありますが、支給月数 0.10 月引き上げの根拠は示されていません。

また、同様の議案提出議員人数が、例えば、平成 26 年の 53 人から今回の 39 人に大きく減少していることを考慮すると、議会の過半数は超えているとはいえ決して大多数とは言えず、安易な期末手当増額は、市民理解が得られないと考えます。また、東須磨小学校における教員間暴行問題を受け、市立学校の校長や教育委員会事務局の幹部職員の期末手当増額を見送りました。

これは、「この問題は調査中であり関係者の処分も終わっていない段階での、期末手当増額は市民の理解を得られない」との理由であります。教育委員会全体だけの問題でしょうか。

一連の問題は、広くは市長および議会としても受け止めるべきであると考えます。

これは、市民から選ばれたものの「宿命」とであると申し上げて、私の反対討論といたします。



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp



新型コロナウイルス対策として組まれた「神戸市一般会計補正予算」を審議するために緊急議会が開催され、総額約1624億円におよぶ補正予算が採決されました。議会では、感染症の拡大防止、経済支援、家庭支援、教育支援など多岐にわたる質疑が行われました。「中小企業等の店舗家賃負担の軽減補助」や市民全員に10万円を配る「特別定額給付金」等が5月より開始されます。私、いさやま大介も議案に対して質疑しました。

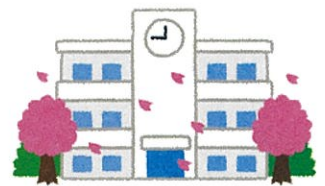
学校休業時における学びの保障について

質疑のポイント

- ☑ 臨時休校期間中における現状において、十分な学びの保障がされているか、家庭学習を支援する取り組みはどうか。
- ☑ 定期的に電話連絡をして、家庭学習の進捗を促す仕組みも必要ではないか。
- ☑ オンライン授業の取り組みを早急に構築すべきではないか。

○ 教育長：学びの機会を保障することは、教育委員会として極めて重い課題と認識。学習に遅れが生じないようにするために、次のように家庭学習を積極的に支援していく。

- ・「学びの手順書」を提示し、教科書に基づきながら、学校再開後の授業内容の予習ができるようにする。
- ・小中学校のホームページ上に「こうべっ子家庭学習のページ」を開設し、各学校の学習課題や教育委員会が制作する授業動画を掲載する。
- ・ICT環境が整っていない家庭にも、WifiルーターやPCを貸し出す配慮をする。
- ・学習の定着が難しい児童生徒等には、学習履歴を確認しながら電話を最低一週間に1回は行ない、郵送でのやりとりも併せ持った上でしっかりと支援をしていく。



学校が再開したときに子供たちが元気に学校に集って、そして仲間とともに勉強も遊びもできるようにそういった準備を学校と児童生徒また保護者とが一緒になってしっかりとこの困難を乗り越えていくということが重要である。

○ いさやま：市立学校園の休業決定と延長は4回判断されている。2回目の休校延長が決まった4月8日からこの対応ができなかったかを指摘。また、「学習機会が失われる」というのは、教科学習のことだけでなく、多くの友達と担任の先生という人間関係がベースになって勉強や勉強以外の事を学ぶ機会のこと。「せめて声をかけてほしい」。保護者のSNS投稿を引用し、このような声に応えるよう、伝えました。

医療提供体制について

発熱外来用の「仮設検査場の設置」をするべきではないか。

また、検査を速やかに行うために、かかりつけ医等の医師によるPCR検査の執行体制（ドライブスルー方式など）を構築すべきではないか。

あらゆる施策を持って、医療現場の安全確保に努めて欲しいと強く要望しました。



『特別定額給付金』
一律1人当たり10万円



お問い合わせ

神戸市特別定額給付金コールセンター ☎078-771-7493



Q：国民一人に配られる10万円（特別定額給付金）はどうやったらもらえますか？

A：5月15日（金）から6月上旬ごろまでに世帯主へ書類が郵送されます。

必要事項を記載の上、本人及び口座確認書類と併せて返送すれば指定口座に振り込まれます。

給付開始は5月末から6月初旬を予定しており、子育て世代から順次段階的に給付されます。

マイナンバーカードをお持ちの方は、オンライン申請も可能です。窓口給付を希望の方はその旨を記載して返送してください。

●現金自動預払機（ATM）の操作をお願いすること、●手数料の振込みを求めることは、絶対にありません。



『中小企業等への家賃負担の軽減』

1 不動産オーナーあたり最大 200 万円



お問い合わせ

神戸市総合コールセンター ☎078-333-3330



Q：会社経営者（事業主）です。家賃が一部軽減されると聞いたのですが？

A：軽減される可能性があります。

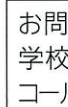
現時点（5/1）の神戸市独自の制度で、不動産オーナー1名に対して、対象期間2か月分の減額総額の10分の8、最大200万円の補助金が支給されます。支給条件は、不動産オーナーが、入居する店舗に対して家賃の半額以上を減額した場合などです。また1オーナーに対して、様々なケースの賃貸者がいらっしゃる事が想定されますので賃貸者が希望しても必ずしも軽減されるとは限りませんことをご承知おきください。

※経営者（事業主）に、減額相当分が支払われることは無いのでご注意ください。

※店舗の範囲については検討中により、随時ホームページ等で確認ください。

『小学校休業等対応助成金・支援金』

会社に対して1日上限 8,330 円 / フリーランス 1日あたり 4,100 円



お問い合わせ

学校等休業助成金・支援金、雇用助成金
コールセンター ☎0120-60-3999



Q：小学校や幼稚園が臨時休業の為、会社を休んで子供の世話をした場合は給与がもらえますか？

A：もらえるケースがあります。

給付条件を満たせば、会社に対して1日上限8,330円が助成されますので、給与として支払われる形になります。（正規、非正規どちらでも可。）

フリーランスは、1日定額4,100円。会社やフリーランスは必要書類の申請が必要ですが、従業員の書類申請は不要です（出来ません）。

給付条件は、従業員は会社から有給休暇を取得して休んでいる、フリーランスは業務委託契約等を締結しているなどいくつか条件があります。

『雇用調整助成金（コロナ特例）』

休業等助成1人1日上限 8,330 円



お問い合わせ

ハローワーク助成金デスク ☎078-221-5440



Q：会社から休むように言われて出社していません。その間の給与はもらえますか？

A：もらえるケースがあります。

給付条件を満たせば、会社に対して1日上限8,330円が助成されますので、給与として支払われる形になります。（正規、非正規どちらでも可。）

※自分が所属している会社の申し込み等については、会社内の総務や経理などの申し込みを行っている部署及び担当者に直接ご確認ください。



新型コロナウイルス感染症対策補正予算案（第2弾）が6月議会で審議され、全会一致で可決、成立しました。感染拡大への再移行を想定した検査体制の強化及び医療提供体制の安定的確保の他に、市民生活・地域経済の維持や支援を柱に、総額112億円におよぶ予算となりました。

私、いさやま大介も議案に対して、再び質疑しました。

水道の料金等の見直しについて

質疑のポイント

- ☑ 県下自治体の中で、新型コロナ対策としての減免未実施は神戸市と加古郡稲美町のみである。
- ☑ 市民生活に一番身近に、かつ広く直結する水道光熱費等に対して減免に取り組むべきではないか。



○ 久元市長：阪神間のほとんどの自治体が、上下水道料金の無料化を行う中で、神戸市がこれを行わないことについて、市民の皆さんが疑問に思われるということは、ごもっともだと思う。

庁内で何度も議論をし、私自身も随分迷ったが、無料化を行わないことにしたのは幾つかの理由がある。

全市民対象に上下水道料金を無料化すると例えば3か月なら約40億円という巨額な財政負担が発生する。

一般会計から補てんをするというのが原則であるが、誰もが必要とする上下水道料金の基本料金を、一律に、影響を受けていない方も含めて無料化するよりは、その財源があるのであれば、真に影響を受けている方々に政策効果が上がるような事業にやはり投入すべきではないか。仮に、これを上下水道のそれぞれの会計で負担をすれば、現在の負担を将来に先送りすることになり、将来の料金の値上げにつながっていく。

神戸市は震災以来、先進的なプロジェクトを展開をして、災害にも強い水道づくりをやってきた。また、老朽管対策も進めていかなければならない。

これらの事業についても、影響が出てくると考える。市民の皆さんには大変申し訳ないと思うが、今回は上下水道の基本料金の無料化を行わないことについて、しっかりと説明する責任がある。



○ いさやま：市民からすれば、財源、政策効果との議論よりも、近隣市との比較論に重きをもつ人もいる。見送った理由を、誠実に市民に向けて、まずは発信すべきではないか。しかし、緊急事態宣言を受け、在宅勤務、学校休業等により各家庭の上下水道の使用量は増加していることは想像に難くない。上下水道料金の減免は、広く市民に経済支援ができる政策であると考え。国の第2次補正予算を見込んで、全額ではなくてもいいので、市民にあまねく支援を頂きたいことを要望する。



学校休業時で不足した授業時間の解消策について

質疑のポイント

- ☑ 市立小・中学校において生じた授業時間の不足数は200時間を超えているが、夏休みの短縮、7時間授業、学校行事の見直し等で不足数の解消は可能か。
- ☑ 学習指導員やスクールサポートスタッフの追加配置により、学力保障は可能か。
- ☑ 来年度に実施される神戸市立高校の入試問題の範囲を縮小すべきでないか。

○ 長田教育長：まず、夏季休業中の授業を設定するに当たり、熱中症リスクを一番に考慮した。特に小学校の登下校には危険性が伴うので7月下旬については、小学校の授業の設定は見送ることとした。時間割の新設、短時間授業の設定、あるいは学校行事の内容変更等により生じる時間を授業に充てることにより、文部科学省が定める標準授業時数以上の時間を確保していく。追加配置をする学習指導員の活用なども含め、児童個々の学習状況を把握をし、その習熟度に応じたきめ細かな指導を行うなど、子供たちの学びの保障に最大限の努力をしていきたい。また、市立高校の入試については、『兵庫県公立高等学校入学者選抜要項』に基づいて実施をしている。出題範囲・内容・方法についての特定の入学志願者が不利にならないよう適切な工夫を講じることとされている文部科学省の通知の趣旨を踏まえ、兵庫県教育委員会に対して神戸市の中学3年生の学習状況を丁寧に伝えるなど、志願者が安心して受験に臨めるように、県教委とも情報共有や協議を行って対応していきたい。



○ いさやま：1年をかけて学習していく内容を短期間ですることになり、時数確保だけでなく、学力の定着のためによりきめ細かな取組も必要である。授業内容の一部を次年度に繰り越すこともできるという文科省通知もあるので、柔軟な対応をお願いしたい。入試に関しては、神戸市は休校期間が長かったので受験生に寄り添った対応をお願いしたい。（残念ながら、7月8日に県教委から範囲縮小しない旨の通知あり）



■ 議員報酬2割を削減する条例を提出するも継続審議！

「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例」

いわゆる『神戸市会議員の報酬2割を1年間カット』する内容の条例を、

私、いさやま大介を含めた14名が提案議員となり議案として提出しました。

財源約1億5600万円を捻出し、「新型コロナウイルス対策」として活用することを目的とするためです。

付託された総務財政委員会では、「結論を出すべきではない」という意見が過半数を超え、残念ながらこの会期中に議案を通せず、「継続審議」となります。

兵庫県、西宮市、芦屋市、明石市など県内7割にあたる30議会が、6月末の時点で議会費（議員報酬、期末手当、政務活動費など）の削減に取り組んでいる状況下において、感染確認が最も多い神戸市の本議会において結論が先送りになったことは残念でなりません。引き続き議論を進めて参ります。



神戸の自然を活用した野外活動の推進!!

教育・地域

質疑のポイント

- ☑ 学校臨時休業の長期化による子供のストレス対策として、地域住民が実施する子供向け屋外プログラムに対し助成金が交付された。
- ☑ 豊かな自然での野外活動を見直すきっかけになったのではないかと。
- ☑ 神戸の自然を活用した野外活動の取組をさらに推進すべく制度を拡充し、周知徹底をはかり、取り組むべき。

【市長】学校の臨時休業が長期化する中で、子供が野外で過ごせる環境を提供するために、地域住民や団体が行う子供向け野外プログラムを約1か月間募集をした。延べ53団体がスポーツや自然体験など多様なプログラムを実施し、延べ約2,000人の参加があった。新型コロナウイルスの影響により従来の生活様式が大きく変化する中、野外活動が見直されている中、これを拡充し、政策としてこれを練り上げていく。



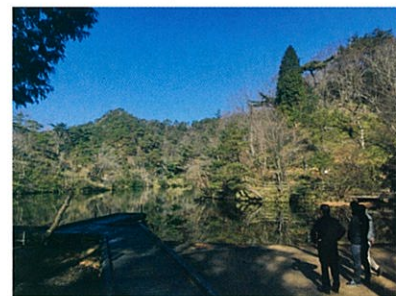
質疑のポイント



- ☑ 学校行事における自然の中での野外活動が、教職員の働き方改革の影響を受け減少しており、子供の教育への影響が心配である。
- ☑ 民間事業者の活用も視野に入れながら、野外活動の機会の確保について改めて検討すべき。
- ☑ 小学校の高学年で野外活動を行ってきた施設「神戸市立自然の家」について、施設の位置づけを明確し老朽化対策と運用方針を検討すべき。

【教育長】小学5年生が自然学校、6年生が冬季野外活動、中学校では1、2年生が2泊3日程度の野外活動を現状実施。民間事業者にもさらなる協力をもらい、神戸の自然に親しみ有意義な野外活動を体験できる機会を確保できるように努めていく。

【副市長】施設はかなり老朽化が進んでいると認識。豊かな自然の中で安心して利用でき、青少年の教育を目的としながら、六甲山・摩耶山の活性化にも寄与するような野外活動施設となるよう検討する。



▶ 摩耶山上にある穂高湖

映画のロケ地としての観光施策の推進！

観光・都市プロモーション

質疑のポイント

- ☑ フィルムコミッション「神戸フィルムオフィス」が設立20周年を迎えた。
- ☑ 節目の年に神戸出身の黒沢監督の「スパイの妻」が世界3大映画祭の一つ、ベネチア国際映画祭のコンペティション部門で銀獅子賞に輝いた。
- ☑ この20年の取組を評価するとともに、観光資源としての展望はどうか。

映像関連産業への幅広いネットワークを活用した誘致活動と、他都市では撮影が困難であった施設等での撮影が高く評価され、令和元年度末までに3,044件の映画、ドラマ、テレビ番組、CM等の撮影が実現をしている。

神戸フィルムオフィスの設立により、映画のまち神戸としてのPRが図れるとともに、神戸の観光客誘客、神戸経済の活性化に寄与してきた。今後もロケ地の観光資源として活用について取り組んでいきたい、とのこと。



▶ 北野異人館でのロケ風景

ICTを活用した医療と介護のデータ連携を！

医療・介護

質疑のポイント

- ☑ 神戸市北区において健康局と神戸市のスタートアップ企業が、ICTを活用した医療介護情報を共有するための実証事業を行っている。
- ☑ 地域包括ケアシステムの推進における強力なツールと考える。
- ☑ 今回の実証事業の評価指標の結果をもとに、全市展開はどうか。

病院とケアマネジャー等の情報共有を円滑に行うために作成した入退院連携シートを電子化し、救急・災害時に活用するために、その利用を促すような形にした。また、市民の健康づくりを支援するシステム「MY CONDITION KOBE」への登録などを行った。結果、区内居宅介護支援事業所65か所の半数以上がこの電子化サービスを導入し、また「MY CONDITION KOBE」の登録者の増にもつながった。

ICTを活用した医療介護情報の共有をさらに広げていくのは十分検討に値するものだと考える。地域包括ケア推進のための方策を議論する「医療介護連携に関する専門部会」において全市展開に向けた関係者間の合意形成に努め、円滑な事業の運用手法なども考えていく、とのこと。



▶ 株式会社 KURASERU を訪問

文化・スポーツ活動を促進！

文化・スポーツ

質疑のポイント

- ☑ 昨年、日本で初めて開催されたラグビーワールドカップ2019において海外のファンも多数訪れ、神戸市の4会場では11万人の入場者になった。
- ☑ 成功の要因はどこにあるのか。今後の国際大会誘致への展望は。
- ☑ 「第9回神戸国際フルーツコンクール」は市からの財源の投入の在り方をめぐり、存廃の議論があった。
- ☑ 来年開催予定の第10回は、前回の成果をどう活かしていくのか。

成功した重要な点は、警察や消防などの関係機関と連携により、安全で安心して試合を観戦して頂いたことではないか。延べ3,000人を超えるボランティアが活動できたこと、神戸観光局の仕掛けにより、街中でおもてなし事業が展開できたこともある。神戸をPRする絶好の機会になる大規模な国際スポーツ大会の誘致に、さまざまな要因を踏まえて取り組んでいきたい、とのこと。



▶ 御崎公園球技場での試合



フルーツコンクールの認知度が非常に低く、市民還元ができていない問題があったため、コンクールを核とした国際フルーツ音楽祭に広げ、140を超える様々な事業を行った。小学校をコンテストが訪問し交流をするなど新しい取り組みを行った結果、本選は満員になった。財界や市民団体からも、引き続き応援を頂いている。第10回に向けて、講座やトークイベントなど、コンクールならではの楽しみ方、魅力を伝えるための企画に取り組みたい、とのこと。

令和元年度各会計決算について

令和元年度各会計決算及び関連議案、合計24件を要望10件を付して認定、承認しました。(要望事項の一例)

- ・コロナ禍の中、インフルエンザワクチンの確保に向けて、県と連携し製薬会社に安定的な供給のはたらきかけを行うこと。また、幅広く予防接種を進めるため、全世代に対する補助メニューを構築すること。
- ・摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立を図ること。
- ・公園不足が指摘されている摩耶小学校区においては、早急に公園用地の確保に努めるとともに防災空地の活用も視野に、建設局と都市局の連携を図ること。



議会風景



▶ 令和2年9月 決算議会代表質疑 ▶ 決算特別委員会

■ 議員報酬2割を削減する条例を提出するも否決！

財源約1億 5600 万円を捻出し、「新型コロナウイルス対策」として活用することを目的とするため、「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び

期末手当に関する条例の特例に関する条例」いわゆる『神戸市会議員の報酬2割を1年間カット』する内容の条例を、私、いさやま大介を含めた 14 名が提案議員となり議案として提出しました。委員会では「継続審議」となりましたが、本会議では賛成少数で否決されました。

賛成 28 名
反対 40 名

■ 「あたたかい中学校給食のモデル」を視察しました！

・ 副食（おかず）のうちメインの主菜について、保温機能のある食缶を活用して温かいまま学校に配送し、教室でランチボックスに取り分けて給食を提供する

「あたたかい給食」のモデル実施が行われました。

・ 今後は、隣接する小学校の給食室から中学校に給食を配送する「親子調理方式」が、3校にてモデル実施されます。



▶ 給食を配膳する様子

■ 議員インターンを受け入れました！

若い学生に政治、議会に興味をもってもらう目的で、大学生インターンを4名受け入れました。議会の仕組みを勉強したり、灘区長との懇談をはじめ多くの方々からレクチャーを頂きました。灘中央市場の防災空地では、地元企業の協賛をいただきながら、チャリティーイベントを開催し、地域での活動も充実させました。



▶ 珈琲チャリティーイベント

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp



市政を身近に

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.24

王子公園の再整備により、地域ブランド向上へ!!

スポーツ・地域

質疑のポイント

- ☑ 王子公園は、周辺に多くの教育・文化施設が立地する文教地区であり、年間100万人以上が来園する動物園とスポーツ施設が複数ある注目のエリア。
- ☑ 大学誘致や新スタジアム、芝生広場の整備を含む王子公園の再整備に向けた関連施設の調査検討等は、どのように行なわれるのか。

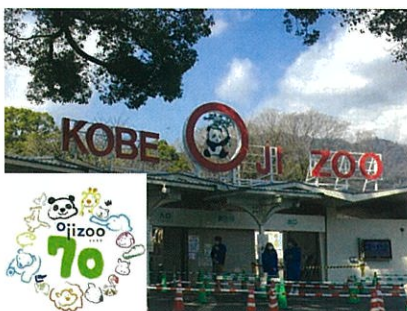
- ・動物園は、おおむね現在の位置でリニューアルする。有識者会議を設けて検討し、都市型動物園に求められている役割、展示方法などを議論していく。
- ・駅近いエントランス部に芝生広場などを確保する方向で検討。大学の立地場所は東側のスタジアム周辺とすることを想定し、スポーツ施設については、利用状況などを勘案し再編する。利用団体などに利用状況など、ヒアリングを既に始めている。
- ・必要な基礎的調査を行い、公園全体のゾーニング、施設レイアウトの検討をする。令和3年度の早い段階で、公園全体の再整備計画素案を取りまとめ、利用者、地域住民などの意見を伺っていく。令和4年度に一部の事業について着手をしたい。

王子公園の特徴

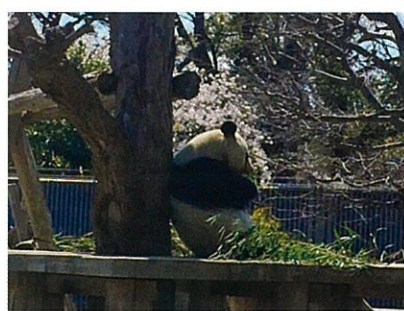
- ・駅に隣接する大規模公園
- ・動物園やスポーツ施設など、幅広い年齢層が利用
- ・敷地内、周辺を含め多くの教育・文化施設、歴史的建造物が立地(灘文化軸)



王子公園の主要施設



▶ 70周年を迎えた王子動物園



▶ 北区淡河町の竹を食べるジャイアントパンダのタンタン



▶ 王子スタジアムで開催されるアメリカンフットボールの試合

学 習支援の充実を！（継続質疑）

教育・福祉

質疑のポイント

- ☑ 貧困の連鎖による教育格差を防ぐため、所得水準が低い世帯の生徒に学習機会を得る制度の構築をすべきであると、過去に質疑。
- ☑ 令和3年度より、多様な学習支援の実施というテーマで学習支援事業を行なうが、その狙いと取り組みはどういったものか。

「リモート型学習」、「リアル型学習」の2つの支援のスキームを行なう。休校期間の長期化と家庭の経済的事情で学習の遅れが拡大する懸念から、受験を控える中学3年生を対象にスタートしたリモートでの学習支援を、中学2年生、不登校の中学生、長期入院の小・中学生と段階的に実施を拡大した。現在 200 名超の中学生が大学生講師とマンツーマンで週 1 回、50 分のオンラインでの学習支援を受けている。



リアル型の新たな学習支援は、経済的に厳しい中学生に対し、大学生講師が高校受験に向かって伴走支援をするとともに、地元企業も参画して、将来の夢や選択肢を提示するという取組。まずは市内3か所で運営事業者を募集し、事業開始後の運営支援を行っていく。



▶ 西区の「無料学習支援教室」を訪問

令和2年予算議会にて、私、いさやま大介の質疑から1年後に、政策化できたことを高く評価するとともに、今後、全市への拡充を期待します。また、学習面だけでなく、文化・スポーツ的な要素を高めるために「習い事クーポン」の発行を要望しました。

こどもの居場所づくり、中高生の無料自習室など、注目の施策

- ① こどもの居場所づくりの全市展開
 - ・小中学生に夕食や自習の場を提供する子ども食堂への補助金支給要件を緩和。
- ② 学童保育利用者を対象とした学習支援の実施
 - ・公設の学童保育約200カ所に、児童の宿題の見守りに当たる要員を順次配置。
- ③ 中高生への無料自習室確保
 - ・文化センターの空き室など10カ所程度を、中高生用に自習スペースとして平日の放課後等に確保。



I CT等を活用した高齢者のフレイル予防を！

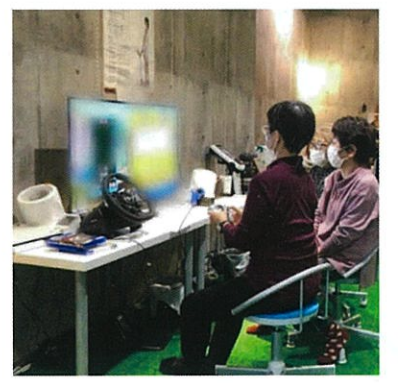
介護・ICT

質疑のポイント



- ☑ コロナ禍におき、外出を自粛している高齢者が増えている中、人と接する機会が減少することにより、フレイルの進行が危惧される。
- ☑ テレビ放送されたオリジナル介護予防体操プログラムが好評であったが、ICT等を活用したフレイル予防対策の取組の展開は。
- ☑ 公衆Wi-Fiが設置される「地域福祉センター」の活用して、子供の学習場所として提供するなど、多世代が集まる仕組みを構築すべき。

機械に不慣れな人でも簡単に利用できるオンライン会話ツール「リハブコール」や、ゲーム競技として楽しむeスポーツ等を活用した実証事業に取り組んでいる。来年度から、神戸市看護大学において、重症化リスクの高い慢性疾患患者を対象としたオンライン看護のモデル構築等の取組を開始する。機械に不慣れな高齢者も多いことから、今後のフレイル対策は、ICTの活用と従来通り対面によるつながりを合わせた「ハイブリッド型の対応」を考えている。



▶ eスポーツを楽しむ風景

「子供の居場所づくり事業」の拡充により、子供たちが放課後に身近な施設としてGIGAスクールで配布されたパソコン等を使って、家庭学習できるような環境も整えていく必要がある。高齢者をはじめとする世代を超えたスマホ教室、オンラインの体験会などの活動を支援することで、「地域福祉センター」を地域の多世代交流の拠点にしていきたい。

■ 令和3年度各会計予算について
 令和3年度各会計予算及び関連議案、合計47件を要望 12 件を付して認定、承認しました。
 (要望事項の一例)

- ・新型コロナウイルス感染症対策において、スーパーコンピューター『富岳』を最大限活用し、原因の究明と予防対策に万全を期すこと。
- ・摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立を図ること。
- ・公園不足が指摘されている摩耶小学校区においては、早急に公園用地の確保に努めるとともに 防災空地の活用も視野に、建設局と都市局の連携を図ること。



議会風景



▶ 令和3年2月 予算議会代表質疑 ▶ 予算特別委員会

■ 予算特別委員会、局別審査にて質疑したテーマはこちら

○こども家庭局

1. こども未来課の新設
 - (1) こども居場所づくりの全市展開
 - (2) 学童保育利用者を対象とした学習支援
2. 民設学童保育への助成拡充



○経済観光局

1. 商業者によるにぎわい・魅力発信活動に関する支援
2. 在籍型出向

○教育委員会

1. 今後の学校行事の在り方
2. コミュニティスクール

○港湾局

1. ポートタワーリニューアル期間中のにぎわいづくり
2. 海事分野の人材育成



○文化スポーツ局

1. フルトをはじめとした「音楽のまち神戸」の発信
2. 自然の家のあり方検討に向けた調査等の実施
3. ポートアイランドスポーツセンター再整備など（要望）



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp